

平成27年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
宇陀市	宇陀市立室生東小学校

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

・「地域と共にある学校づくり」を推進し、学校と保護者・地域が「協働」することにより、「地域教育力の向上」を図る。

2 特徴的な取組の概要

《米作り体験》

パートナーシップ事業においては、地域の方の教育力を生かし、教育に学校・保護者・地域が共に参画することを目指している。

その一つとして、今年度は5年生が米作り体験を行った。これは学校近くの田を借りて、苗づくりから収穫までを行うものであった。

まず、地域の方に苗床の作り方の指導を仰ぎ、実際に苗を育てた。そして、田おこし・畦塗りという田植え前の大変な準備作業を経験した。実際に田植えをし、時折除草作業も行った。成長の記録を取りながら見守り、なんとか収穫時期を迎え手作業で稲刈りをした。昔ながらの「はさ」で自然乾燥し、足踏み脱穀機で脱穀体験をした。その後、ステンレスボウルとボールで粃摺りに挑戦した。子ども達は約10kgの新米を収穫することができた。

いずれの段階も、担任と地域の方との入念な打ち合わせを行った。そして学校では難しい専門的な準備と指導をして頂いた。また、取組を進めるうち、水の管理をしている方や、田んぼのあぜの草刈りをして下さっている方と出会い、その方々に稲刈りや脱穀作業も手伝っていただいた。最後に借りた田は畦の草刈りをし、耕耘してお返しした。子ども達は感謝の気持ちを伝えるため、関わってくれた全ての方を招いて感謝の会をした。収穫した米は、感謝の会をはじめ、他のゲストティーチャーへのお礼、秋祭りや家庭科の授業で何度も炊飯した。その際、自分たちの米のゴミを取ったり、選んだりするが、未熟米や欠けた米に対して「もったいない」という意識を持つなど、食育ともつながった。また、畦塗り、脱穀の大変さや、米の味など家庭で話をするようになり、子どもの変化に保護者も喜んでいいる。

地域・保護者との連携することができ、また、「協働」することができた貴重な体験的学習であった。



苗づくり



畦塗り



稲刈り



粃摺り



感謝の会